



四日市市自治会連合会

# 四自連だより

発行

R2年11月1日発行

【編集・発行】

四日市市自治会連合会

〒510-8601

四日市市諏訪町1-5

TEL 059-354-8287

e-mail:yonjiren@m6.cty-net.ne.jp

第24号



## ごあいさつ

四日市市自治会連合会 会長 水谷 重信

四日市市自治会連合会の皆様におかれましては、地域において自治会活動にいろいろとご尽力賜っておりますこと、心からお礼申し上げます。

さて、ご承知の通り、今年は年初から新型コロナウイルス感染症の影響を受け、皆様日々心配と不安な毎日をお過ごしのことと思います。

当自治会連合会も、年度初めの年間行事や予算等を書面での決議として、十分に審議する場を設けることができないままのスタートとなりました。

各地区におかれましても、毎年の恒例行事が延期や中止になっており、自治会が目指す「住みよいまち 四日市」の様々な活動が制限され、地域の方々にご迷惑をおかけしております。

そのような中、8月に感染症防止対策を実施しながら、市長と各ブロックとの意見交換会を行いました。

本年度から10年先の四日市市を見据えた四日市市の総合計画が新たに策定され、意見の中には四日市の中心市街地の活性化に対する質問に対し、市長からは、〇バスターミナルの集約 パスタプロジェクト  
〇駅から中央通りをデッキで直結させる駅前広場の整備  
〇新図書館の建設等の駅東から駅西までの駅前再開発をしていく大きなプロジェクトが進んでいる説明があり話題となりました。

第24号の四自連だよりにも内容を紹介しておりますので、ぜひ一読ください。

最後に一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と皆様のご健康をお祈り申し上げます。

## 第24号のおもな内容

- 令和2年度自治会長大会 ..... P2
- 市内視察研修 ..... P3
- 先進地視察研修 ..... P4
- 市長との意見交換会 ..... P5~8

## 令和2年度自治会長大会

11月5日（木） 四日市市自治会長大会をし、第1部では、永年勤続表彰で63名のかたが受賞されました。

第2部は、「避難のスイッチを入れるためのキーは自治会にあり～地域住民が早く安全に避難するための自治会の避難支援体制について～」というテーマで一般社団法人 日本防災教育訓練センター代表理事 サニー カミヤ氏の講演がありました。

### 令和2年度 永年勤続被表彰 自治会長（63名）

（敬称略・順不同）

勤続35年（1名）		
浜田地区	十七軒町	自治会長 谷口 尚市
勤続25年（1名）		
浜田地区	幸町南	自治会長 飯田 輝一
勤続20年（2名）		
三重地区	三重五丁目	自治会長 藤田 耕司
県 地 区	あがたが丘三丁目	自治会長 瀬古 正美
勤続15年（4名）		
富田地区	富田浜町北部	自治会長 荒木 尚美
八郷地区	黄金町	自治会長 村上 尚子
常磐地区	伊倉一丁目	自治会長 中島 政治
塩浜地区	川合町	自治会長 今村 勝昭
勤続10年（17名）		
共同地区	元町二区	自治会長 森 展男
浜田地区	浜田町第三	自治会長 長谷川潤一
橋北地区	高浜・高浜新町	自治会長 森 敏夫
橋北地区	川原町第二	自治会長 服部 浩明
羽津地区	別名第二	自治会長 正岡 茂
富田地区	西町第五	自治会長 森本 高夫
三重地区	三重四丁目第3	自治会長 国府 政信
桜 地 区	桜新町二丁目	自治会長 橋川 淳
神前地区	尾平町南	自治会長 平尾 光男
常磐地区	赤堀二丁目東	自治会長 高島 昭仁
常磐地区	大井手一丁目北	自治会長 川瀬五十六
四郷地区	高花平五丁目中部	自治会長 小伊豆寅夫
四郷地区	笹川九丁目西	自治会長 新原 慎一
日永地区	泊小柳町	自治会長 森下 國男
塩浜地区	磯津西町	自治会長 岡田 清司
塩浜地区	磯津南町	自治会長 森 幸次
内部地区	采女町南部	自治会長 坂崎 征宏
勤続5年（38名）		
共同地区	諏訪町第一	自治会長 八鳥 洋明
中央地区	グランドメゾン沖の島町	自治会長 中川 美光
港 地 区	北納屋町	自治会長 町田 光夫
港 地 区	浜町二区	自治会長 吉田耕太郎
浜田地区	安島	自治会長 衛藤 真志

浜田地区	中浜田町	自治会長 岡村 豪之
浜田地区	曙町	自治会長 前田 和雄
橋北地区	東新町第三	自治会長 阿部 逸男
橋北地区	新浜町北中	自治会長 安田 真人
橋北地区	午起一・二丁目	自治会長 濱地 栄一
海蔵地区	西阿倉川一区	自治会長 羽場 誓司
海蔵地区	三ツ谷東区	自治会長 加藤 政男
海蔵地区	三ツ谷北区	自治会長 内田 秀
羽津地区	羽津山町	自治会長 平野 信幸
富田地区	富田栄町第二	自治会長 棚瀬 護
富田地区	北村町第一	自治会長 辻井 明子
富洲原地区	富田一色寺町	自治会長 佐藤 良一
富洲原地区	富田一色新町	自治会長 樋口 孝一
八郷地区	広永町	自治会長 加藤 學
保々地区	小牧町西	自治会長 和田喜久男
三重地区	生桑町	自治会長 伊藤 保之
県 地 区	あがたが丘二丁目	自治会長 中川 敏雄
神前地区	寺方町二区	自治会長 川村 正茂
常磐地区	石塚町一区	自治会長 中村 昭康
常磐地区	久保田第三	自治会長 辻 正次
常磐地区	ときわ三丁目	自治会長 横田 紘治
四郷地区	西日野町第十三	自治会長 水谷 弘
四郷地区	八王子町	自治会長 小林 廣
四郷地区	笹川五丁目第一	自治会長 中村 行雄
四郷地区	UR笹川（C地区南東）	自治会長 田村 穂積
日永地区	大瀬古町	自治会長 谷口 啓
日永地区	梅が丘	自治会長 橋爪 康臣
塩浜地区	七つ屋町	自治会長 川村 保
塩浜地区	海山道町	自治会長 粕谷 正教
塩浜地区	大井の川町	自治会長 森 喜輝
内部地区	東原町	自治会長 保黒 時男
内部地区	中堀町	自治会長 飯村 純
河原田地区	北河原田町	自治会長 渡邊美知夫

※勤続年数については単位自治会長歴と  
連合自治会長歴を通算しております


 地場ゼネコンとしての今と未来「造る」から「守る」へ  
**株式会社 中村組**  
 三重県・四日市の建築工事・土木工事・リフォーム・新築  
 〒512-8046 三重県四日市市あかつき台2丁目1-192  
 TEL 059-337-2222 FAX 059-337-2145  
<http://www.nakamuragumi.co.jp>

**医療法人 尚豊会 みたき総合病院**  
 標榜診療科目 内科、消化器内科、神経内科、緩和ケア内科、循環器内科、人工透析内科、糖尿病内科、肝臓内科、産婦人科、外科、血管外科、乳腺外科、耳鼻咽喉科、整形外科、リウマチ科、泌尿器科、脳神経外科、リハビリテーション科、小児科、眼科、麻酔科、歯科口腔外科、小児歯科  
 診療時間 午前／9時00分～正午 午後／4時00分～6時00分  
 休 診 日 水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日  
 住 所 〒512-0911 四日市市生桑町菰池458番地1  
 電 話 (059) 330-6000  
 U R L <https://mitaki.or.jp>



# 市内視察研修

9月18日（金）、四日市市総合体育館・弓道場・フットボール場を市内28地区の連合会長が視察研修しました。

四日市市総合体育館は、2021年に行われる予定の三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けて、中央緑地に新しく整備されました。

2020年5月29日に完成披露式典を行ったばかりの全国トップレベルの施設で、内装に木材を使用し、木材を曲げながら格子状に組合せ波紋の重なりや広がり表現しています。

日 時 令和2年 9月18日(金)13:30～15:00  
 視察内容 四日市市総合体育館・弓道場・フットボール場 見学

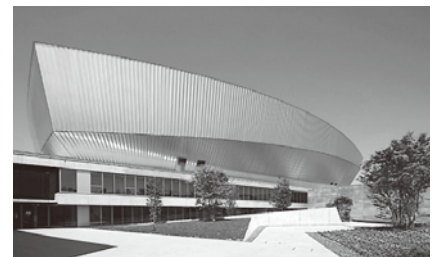
## 【四日市市総合体育館】

アリーナは、3層吹き抜けで、面積は3,308.8㎡（縦47m×横70.4m）。

コートは、バレーボール4面、バスケットボール3面、ハンドボール2面、バドミントン20面分の競技エリアが確保でき、また、ネットで仕切ることにより分割使用することもできます。

スタンドには3,000席の座席があるほか、アリーナ内には移動観覧席512席を設置でき、センターコートを使用する大規模大会にも対応。

また、車いす用スペースも3階南側に16台分（付き添いの方を含めると32席分）あり、その周辺には難聴者用補聴システムも完備しています。



四日市市総合体育館



東海地域有数の広さを誇るアリーナ



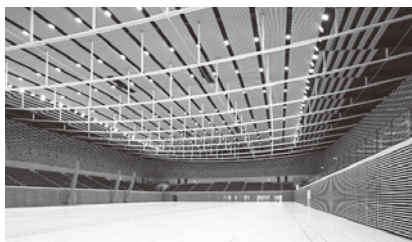
体育館内のウォーキングコース（無料）



トレーニングルーム（大人使用料300円）



アリーナ直結の会議室



LED照明や自然通風等環境に優しい設計



体育館屋上スカイストリートからの景色

産業の土台をつくり、  
地域の未来をつくる。

**横内建設株式会社**

三重県四日市市小古曾町2812-126  
 ISO9001・ISO14001・ISO45001 認証

損保  
 ジャパン  
 代理店

**ライジング保険**  
**(有)石崎保険事務所**

自動車・火災・ケガ・医療  
 介護・認知症保険・各種保険

お気軽にご相談ください

〒510-0815 三重県四日市市野田1-2-25  
 TEL 059-331-9948 FAX 059-331-3715

# 先進地視察研修



10月13日（火）、津市へ28地区連合会長が視察研修に行きました。

鈴木知事から、コロナ対応「みえモデル～命と経済の両立に向けて～」をテーマに講演して頂きました。知事は感染者への偏見・差別を許さないと強く訴えてみえました。午後からは、「津市津南防災コミュニティーセンター」を見学、「津市南が丘地区自主防災協議会」を研修しました。



## 【津市津南防災コミュニティーセンター】

地元からの要望に基づき防災の機能も加味したコミュニティーセンターを、総事業費4億3,600万円をかけて、去年7月にオープン。

約200名の避難者の受け入れが可能なこれまでにないタイプの施設です。



### 【主な特徴】

- 天井高4mの大ホールは、災害時に使用する高さ3mのエアートントの設営訓練にも対応できます。
- 軽スポーツ対応の床板は、硬すぎない材質が避難者の体に優しく、冬季の冷え込みを和らげる効果があります。
- 防災倉庫は、避難物資や備品を出し入れしやすいよう、屋外からも屋内からも開閉可能な仕様。
- 災害時に大型車両の運行拠点となるよう、車止めがありません。
- 既設の避難所で収容しきれない場合に、他の安全な避難所へバスなどで移送するための拠点となります。
- 駐車場のスペースは、車中泊にも使用できます。

## 【津市南が丘地区自主防災協議会 研修】

津市は南海トラフ地震が発生すると、沿岸部が広く津波浸水することが予測され、沿岸部から10万人の避難者が想定されます。（H28調査）

津市では、高台にある指定避難所が収容しきれなくなり、避難者がつぎにどこへ避難するか。という課題を解決するために、広域避難計画が策定されました。

津市南が丘地区は、高台に位置していて、避難者を受け入れる「受援体制」を防災訓練にも取り入れて活動しています。

平成25年にみえの防災大賞を受賞、平成27年には、総務省の防災まちづくり大賞消防庁長官賞を受賞されています。



地域とともに歩み 人とともに育つ

**CHUO 中央建設株式会社**  
http://www.chuo-groups.co.jp

〒512-0913 三重県四日市市西坂部町3581  
TEL (059) 331-1144  
FAX (059) 332-8212

田曾浦にすじ青のりの陸上養殖工場が  
2020年4月に誕生しました  
陸上の大型水槽を使って春夏秋冬、  
毎月出荷します

株式会社  
MINAMIISE MARINE BIO **南伊勢マリンバイオ**

〒516-0222 三重県度会郡南伊勢町田曾浦4722番42  
**TEL 0599-69-0810**



## 市長との意見交換会



8月4日、5日、6日の3日間かけて、2ブロックごとに「市長との意見交換会」を実施しました。コロナ禍ではありましたが、密を避け各地区の連合会長が出席し、4月からスタートした総合計画を踏まえた質問や、地域の現状について話し合いました。特に多発する自然災害への危機意識が高く防災関係の意見が多くでていました。その他、市街化調整区域の公共下水の整備等の課題について意見がでました。

### 8月4日 北部・西部ブロック（場所：八郷地区市民センター）

#### Q 北部ブロック／テーマ：防災「北勢防災拠点施設整備の市との連携」

★発言者：春日部 昇（八郷）

平成30年4月、八郷地区に三重県の施設である「北勢防災拠点施設」と四日市市の施設である「四日市市北部防災拠点倉庫」とが併設され運用開始された。三重県のホームページには、県としての設置のあり方や、物資の配送方法等の記載はあるが、四日市市において、明確な広報や指示がないように思われる。市民が災害時「防災倉庫に行けば防災物資が直接もらえるものだ」と勘違いしているものもいると聞いている。

行政と各自治会が円滑なコンビネーションで動けるように、どのような手順で物資の供給配布が行われるのか。また、人材派遣等いろいろな災害を想定して行動がとれるようにマニュアルを作成することが必要とされる。

そのために、県、市、地域との連携組織を組むことが重要である。広く市民に周知できるようイラスト等でわかりやすい広報をお願いしたい。

#### A 市長

三重県の施設である北勢防災拠点施設の横に市の北部拠点防災倉庫を設けている。

県からの物資の流れは、（県）北勢防災拠点施設（市）  
 北部拠点防災倉庫  
 南部拠点防災倉庫

2か所の防災倉庫に物資が運ばれる。今年度には、物資の供給体制も含む支援計画を策定する予定である。



#### Q 西部ブロック／テーマ：防災・土木「四日市市総合計画、分野別基本政策、防災、消防について」

★発言者：小松 茂夫（県）

今年度からの総合計画に記載されている「地域の防災力を高めるまちづくり」に「防災教育の充実、防災大学講座等の人材育成」と挙げている。

現在、国道一号線沿い富田に所在する四日市市防災教育センターには、展示体験室等がある。南海トラフ大地震に備え、地域住民の自助、共助の一人一人の意識も徐々に高揚していると思われる。そこで、31万都市四日市にふさわしい防災教育センター施設等の整備見直しを期待している。

創業116年。地域の皆様に支えられて、これからも家づくりに精進します。



株式会社 内田建築 内田建築一級建築士事務所

〒510-0001 三重県四日市市八田二丁目8-1  
 TEL 059-331-4831 FAX 059-331-4841  
<http://www.utiken.com>



創業60年の実績と信頼

機械メンテナンス・電気工事



業務内容

- 機械器具設置工事 ■機械メンテナンス(安全弁、その他弁類・コントロールバルブ・流量計・回転機類他)
- 電気工事 ■管工事・鋼構造物工事 ■消防施設工事(保守・点検他) ■計装工事 ■ロボット据付工事
- 諸機械旋盤加工(オフィスフランジ・オフィスプレート・サーモウェル・その他計装関係部品)

〒510-0846 三重県四日市市大井の川町三丁目28番地  
 本社 059-346-5533 FAX 059-346-5537  
 URL <http://kk-tokai.co.jp>



## A 市長

防災教育センターは、平成9年に開設し、すでに23年経過している。総合計画にも位置づけしており、施設のリニューアルを考えている。消防署と併設している今の場所は、消防署と連結していることで火災予防や応急手当、消防車、庁舎の見学もできることから、そのまま使いたい。

新たに、VR（バーチャルリアリティ）仮想空間での体験や、災害体験のできる機材を導入したり、ICTを活用したりリモートのインターネットオンラインによる企画展等、コロナ禍においても活用できる防災教育センターのあり方を模索していきたい。

## 8月5日 東部・西南部ブロック（場所：海蔵地区市民センター）

### Q 東部ブロック／テーマ：防災・政策「四日市市総合計画・中心市街地の活性化について」

★発言者：内田 寛（羽津）

今年度策定された総合計画は10年先を見据えて計画を立てているが、50年100年先の四日市を見据えて四日市の中心部である近鉄・JR周辺の活性化や市役所・図書館を含めたまちづくりを、どのようにしていくか。

## A 市長

2027年に東京・名古屋リニア中央新幹線が開通する予定であることから、名古屋に合わせて四日市も駅前の整備が、大都市とつながる大きなきっかけとなる。

- ・バスターミナルの集約、バスタプロジェクト
- ・駅から中央どおりをデッキで直結させる駅前広場整備等

駅東から駅西までの駅前再開発していく大きなプロジェクトが進んでいる。図書館については、確定ではないがスターアイランド跡地に図書館を整備できるように、土地所有者等と交渉している。そういったものがすべて1つになっていけば、相当なまちなかプロジェクトになり、何十年に1度の大きなプロジェクトとなっていく。

### Q 西部ブロック／テーマ：防災「コロナ禍における避難所運営について」

★発言者：伊藤 哲（四郷）

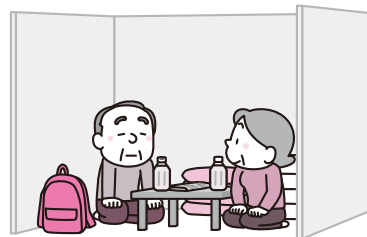
新型コロナウイルスの感染が再び拡大しており、三重県独自の「緊急警戒宣言」が出され、感染の広がりが収束する見通しが無い。

南海トラフ地震はもとより、想定外の記録的な大雨や台風等の自然災害が発生した時の対応について自治会は自主防災と連携している部分も多いので非常に懸念している。

浜田地区においてコロナに対応した避難所運営訓練があり、新聞にも大きく記事になり周知されたのと同時に住民は不安に感じている状況である。

避難所運営ガイドライン（試行版）が実際に各地区のマニュアルに反映できるよう早く情報を流してもらいたい。

資機材についても、非接触型体温計やアルコール消毒は配布されたがそれ以外についても、各地区における避難所が運営できるように整備してもらいたい。



創業嘉永年間 四日市市の家族葬・お葬式なら任せて安心

株式会社 ふじや本店

# 光倫会館

通話無料 24時間・365日受付 携帯電話OK

## ☎0120-114248

〒510-0836 四日市市松本北大谷2015 TEL:059-351-1151代

北勢地域で創業90年  
ご要望に丁寧にお応えします。

# ATKE

阿竹印刷工業株式会社

〒510-8016 四日市市富州原町14-24

TEL 059-365-3125

**A 市長**

7月12日に実施した浜田地区での新型コロナウイルスに対応した避難所運営訓練を行い、市はガイドラインを作成している。ガイドラインを用いて各地区の避難所マニュアルの更新をしてもらいたい。コロナの対応が加わり2倍3倍の労力が地域に加わっていることで、自治会長様、自主防災関係の皆様非常に不安を抱えられているということは認識している。避難所マニュアルの見直しについても、危機管理室が地域にできる限りサポートしていく。

資材については、非接触型体温計は導入したが、アルコール消毒液やマスク、フェースシールド等は、たくさん寄贈されており、各地区に配布できそうだ。

また、避難所の間仕切りや簡易ベットについても、順次市が購入するよう進めている。

避難のあり方については、まず自身の行動エリアの被害状況を災害マップ等でしっかりと把握し、自宅の2階への避難（垂直避難）から、知人や親せき宅への避難を検討し、それでも適わない場合は、避難所へ。という段階を経てもらいたい。すでに啓発はしているが継続的に訴えていきたい。

避難物資については、基本的に自助という考えで、ある程度の物資は、自分で用意できるだけ避難所に行かなくても良いように備蓄してもらうことを、啓発していく。

**8月6日 中部・南部ブロック（場所：中部地区市民センター）****Q 中部ブロック／テーマ：土木・防災「地域応急給水栓配備について」**

★発言者：山路 和良（浜田）

応急給水栓は1地区1基が建前と聞いているが、中部地区は1基使用するとほかの4連合は使えないことになる。給水栓が配備されていることで、地域住民も安心すると思う。給水栓とは別に、津波、大津波警報が発令された場合には津波避難指定ビルがあるが、津波警報がでないと使用できない。

浜田地区でいうと、ヤマダ電機、ニトリは三重交通の持ち物であるが、地域住民からすると避難するのに使い勝手が良い。津波指定避難ビルに指定されている建物に対して四日市市が津波以外の避難準備情報や避難所開設の時も使用できる協定などを結んでもらいたい。

中部地区全体で高層ビルはたくさんあるが、ほとんどが津波避難ビルである。中には、高層ビルが全くない地区や避難場所が遠く離れている地区もあることも踏まえて方策はないか。

**A 市長**

応急給水栓も昨年からの取組を進めている。まずは地区市民センターに1基配備している。今後、118ある指定避難所に配備するほか、各拠点防災倉庫、上下水道局にも合計60セット配備していく。

浜田地区では、先日コロナ対策も含めた避難所運営訓練を実施してもらい報道され注目も集めている。今後は、市のガイドラインを基に各地域のマニュアルに反映させてほしい。

避難の意識を変えて、自宅を含む活動エリアの被害状況や災害マップで確認して、どういう状況かをみながら避難してもらいたい。避難所に行く前に、自宅での2階への避難（垂直避難）や親せき知人宅への避難。それもかなわない場合は避難所へ逃げるようにしてもらいたい。

まごころ施工でお客様の暮らしを「安心」サポート

**株式会社 日本総合施設**

代表取締役 里中 祐介

〒512-0934 三重県四日市市川島町6612-2  
TEL 059-322-5100 FAX 059-321-9221

地域の方の健康増進ならびに  
高齢者福祉に貢献します。



独立行政法人 地域医療機能推進機構

**四日市羽津医療センター**

（旧 四日市社会保険病院）

四日市市羽津山町10番8号 TEL 059-331-2000

## Q 南部ブロック／テーマ：空き家対策「空き家対策について」

★発言者：河合正一（河原田）

最近、核家族化で新興住宅が増えており、旧住宅地における空き家が目立ってきている。空き家対策として民間レベルで流通促進していくことも大切だが、地域として活用していくことを積極的に促進していったらどうかと思う。

自治会での活用例として、

- ・災害用の避難所として活用
- ・高齢者の通所型サービス
- ・学童保育所
- ・歴史的なものを保存するまちづくりの拠点施設

このような活用を図るためには、維持管理していくため、行政からの支援が必要である。

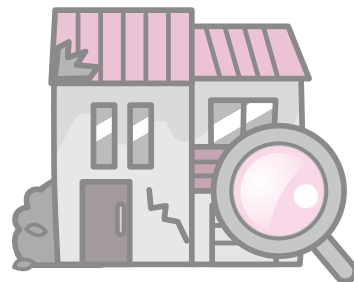
## A 市長

四日市市は、平成30年に1万8千戸の空き家があるところである。今年度は、空き家の実態調査を実施し、危険な空き家か、利活用可能な安全な空き家かの仕分けを行い、

危険な空き家 ⇒ 除却していくよう誘導  
取り壊すと固定資産税が上がりますが、一定期間上がらないよう補助金をだす。

安全な空き家 ⇒ 市内外での移住の方を呼び込み、若い夫婦や実家の近い方等、呼び込んでいきたい。

利用可能な安全な空き家の新しい展開に結び付けていきたい。市として、空き家を活用した活動に積極的に応援していきたい。



## 《編集後記》

四自連だよりは、四自連の事業や、四日市市と協働で行っている活動を紹介し、みなさんにご理解、ご協力いただくために発信しております。

四日市市自治会連合会は、市内のいろいろな地域活動や、課題解決していくために情報交換できる場として今後も活動していきたいと思っております。

四日市市自治会連合会事務局 〒510-8601 四日市市諏訪町1-5  
TEL・FAX 059-354-8287

- ◆未成年者の飲酒は法律で禁じられています。
- ◆妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与える恐れがあります。
- ◆お酒は適量を楽しみましょう。

★ISO9001・ISO14001 認証取得企業  
★IWC2018大吟醸部門・  
IWC2019純米酒部門  
トロフィーW受賞蔵

株式会社 宮崎本店  
〒510-0104  
三重県四日市市楠町南五味塚972番地  
TEL 059-397-3111 FAX 059-397-3113  
(ホームページ)  
<https://www.miyanyoyuki.co.jp>



皆様には心から愛される美酒造り  
「人も心、酒も心」  
清酒宮の雪  
宮崎本店です。

## 地域密着！四日市市の情報 高速光インターネットはCTY



株式会社 シー・ティー・ワイ

〒510-0093 三重県四日市市本町8番2号 TEL 0120-30-6500